

2016年(平成28年)2月28日(日曜日)

名古屋市営地下鉄

利用者の安全・安心 さらに充実

公明党は住民の安全・安心を充実させるため、各地で政策を提案し、推進している。今回は名古屋市の市営地下鉄で実現した可動式ホーム柵の設置や女性専用車両の路線拡大を紹介する。

女性専用車両

可動式ホーム柵

藤が丘駅のホームで女性専用の乗車口を視察する党市議員



高畑駅でホーム柵を視察する党市議員



東山線の全22駅に設置

名古屋市はこのほど、市営地下鉄での転落事故などを防止する可動式ホーム柵を東山線の全22駅に設置した。ホーム柵は昨年9月から、各駅で順次整備・運用が進められていたが、最後の藤が丘駅への設置が完了し、あす29日から運用開始となる。

同線のホーム柵は、すでに全21駅に設置されている桜通線のものとは異なり、可視性の高い透明の扉が採用され、事前にホームと電車との間隔が確認できる。また、誤乗防止のために女性専用車両の乗車口の扉が黄色に塗装されている。

ホーム柵は今後も、他の地下鉄路線にも導入される方針で、名城・名港線(2020年度)で設置が計画されている。

党市議員は予算要望などを通じてホーム柵の導入をかねてより推進。07年には市内の高齢者が地下鉄のホームから転落死亡した事故を機に、ホーム柵が設置されている他都市を調査するなど、再発防止策に奔走。08年11月定例会では、ホーム柵の設置には自殺防止とともに、車いす利用者などが安心して通行できるバリアフリーの側面もあるとして安全対策を訴えていた。

7月 名城・名港線へ導入

名古屋市は7月から、市営地下鉄の名城・名港線で女性専用車両を導入する。同車両はすでに東山線で運行しているが、痴漢防止を求める利用者の声にこたえ、路線を拡大するもの。

地下鉄の女性専用車両は同市が全国に先駆けて2002年に東山線に導入。当初は朝のラッシュ時を含む平日の始発〜午前9時だったが、08年から午後5時〜午後9時にも実施し、現在は終日運行している。市交通局によると名城・名港線の運行については平日の始発〜午前9時の予定で、時間帯の拡大は効果的だった。

党愛知県本部青年局は01年3月、若い女性約1万人を対象に痴漢被害に関するアンケートを実施。朝夕の混雑時に東山線の名古屋〜栄間で痴漢被害を受けたとの回答が最も多かったことを踏まえ、女性が安心して地下鉄を利用できるよう女性専用車両の導入を市側に要望し実現をリード。さらに東山線への導入後も、党市議員が毎年の予算要望や定例会を通じ、運行時間の拡大や他の地下鉄路線への導入を求めるなど一貫して推進してきた。